

平成 29 年度 小国地域の宝磨き上げ事業報告

平成 30 年 1 月 31 日現在

1 小国地域の宝磨き上げ事業（ソフト事業）

団体名	事業名	事業内容	参加者	補助金額
チームオグニー	おぐに森林公園 P R 事業「オグニー ～帝王（キング）の秘宝～」	長岡市おぐに森林公園の若年層に向けた新しい森林空間活用を図ることを通じて、多くの人々が交流できる場をつくり、小国地域の魅力づくりに資することを目的として実施した。	500 人	450,000 円
小国和紙おまつりアイテム開発事業実行委員会	小国和紙おまつりアイテム開発事業	小国和紙を使用したあかりなどを制作し、祭りやイベントで活用することで地域の活性化につなげることを目的に実施した。		400,000 円
音楽の森プロジェクト	音楽交流イベント事業	小国地域の人達に、様々なジャンルの音楽を通して交流を楽しんでもらえる事業のひとつとして、価値あるものに育てていくことを目的として実施した。	400 人	400,000 円
チーム・おぐに	トレイルランニングを活用した地域振興事業	トレイルランニングや交流会を通じて参加者に小国地域の魅力を伝え、移住・定住のきっかけとなる出会い体験をしてもらうことやおぐに森林公園の活性化を目的に実施した。	前夜祭 290 人 トレラン 767 人 体験ツアー 11 人	1,450,000 円

2 小国地域の宝磨き上げ事業（ハード事業）

事業名	内容	決算額等
おぐに森林公園整備事業	・ S L 広場ログハウストイレ改修工事設計委託	488,160 円
おぐに森林公園整備事業	・ 八石山遊歩道管理委託	248,400 円
おぐに森林公園整備事業	・ 園内放送設備整備工事 ・ S L 広場ログハウストイレ改修工事	7,916,400 円 ※4,500,000 円 ※発注済額

小国地域

団 体 名：チームオグニー

事 業 名：おぐに森林公園PR事業「オグニー ～帝王（キング）の秘宝～」

申請団体名	チームオグニー		
事業名	おぐに森林公園PR事業「オグニー ～帝王（キング）の秘宝～」		
実施期間	着手	平成29年6月10日	完了 平成29年10月16日
実施場所	おぐに森林公園		
補助金額	450,000円		
事業の内容	<p>【目的】 長岡市おぐに森林公園の若年層に向けた新しい森林空間活用を図ることを通じて、多くの人々が交流できる場をつくり、小国地域の魅力づくりに資することを目的とする。</p> <p>【事業費】 509,754円</p> <p>【内容】</p> <p>1 長岡造形大学長瀬研究室との企画検討 ・内容：長瀬研究室ゼミ生・造形大事務局との事業企画 ・実施日：5/24(水)～順次 ・参加者：各回10名程度</p> <p>2 小国中学校総合学習と地元住民によるオグニーカカシ制作活動 (1) 地元住民カカシ講師と打合せ ・実施日：6/10(土) ・参加者：3名 (2) 小国中学校総合学習でのカカシ制作 ・実施日：6/22(木)、参加者：中学校9名、造形大7名、講師2名 ・実施日：6/29(木)、参加者：中学校7名、講師4名</p> <p>3 地元和菓子屋でのオリジナル饅頭づくり協力</p> <p>4 オグニー広報活動 ・内容：市内外各地へのチラシ、ポスターの掲示 ・参加者：長岡まつり(10名)、越後カントリートレイルでのPR活動(2名) ・内容：おぐにかかしまつりへのオグニーカカシの出展</p>		

	<p>5 長岡造形大学生とのオグニー会場設営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容：会場となるおぐに森林公園での設営作業を、学生ボランティア等からも協力いただき実施した。 ・実施日：8/7(月)～11(金)、9:00～18:00頃 ・参加者：各回10名程度 <p>6 オグニーナイトの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容：森林公園野外ステージでのオグニーナイトダンスショーでは多くの親子連れの姿が見られた。また、造形大学からは長瀬研究室ゼミ生、地域共創演習受講生、ダンスサークル、ボランティア学生など、計20名が参加、協力していただいた。 ・実施日：8/12(土)、18:00～20:00 ・参加者：来場者数200名、協力者25名 <p>7 オグニーミッションラリーの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容：これまでのオグニーは一夜のみの開催だったものに対し、今年は更に1週間の間、森林公園を舞台としたミッションラリーを実施した。お盆期間中の開催ということもあり、帰省中の親子なども多く参加いただくことができた。また、期間中には学生有志でオグニーズバーも営業した。 ・実施日：8/12(土)～20(日)、10:30～16:00 ・来場者300名(うち有料参加者171名)
事業の効果	<p>○長岡造形大学の若い感性で、高いクオリティを出すこのイベントは来場者の満足度も非常に高く、SNS等での情報発信・情報拡散が多く散見されたため、若者へオグニー、おぐに森林公園、小国地域の知名度アップに繋がった。</p> <p>○今年は、公園の活用策として実験も兼ねて、かつてのトリムコースなど未利用となっている箇所を活用方法として、一定期間の森林公園奥地まで使用したミッションラリー形式で開催した。参加者からは、森の散策が気持ちよかったなどの声がきかれ、森林公園の利活用として一つの試金石となった。</p>
今後の課題	<p>○当事業は、長岡造形大学長瀬ゼミの協力が必要不可欠であるが、教育機関という性質上、継続的な事業実施が困難である。大学との協働のあり方を検討する必要がある。</p>

実施状況



▲ 小国中学校から造形大学への提案



▲ 造形大学の現地企画検討風景



▲ 越後カントリートレイルでのPR活動



▲ 長岡まつりでのPR活動



▲ おぐにかかしまつりへの出展



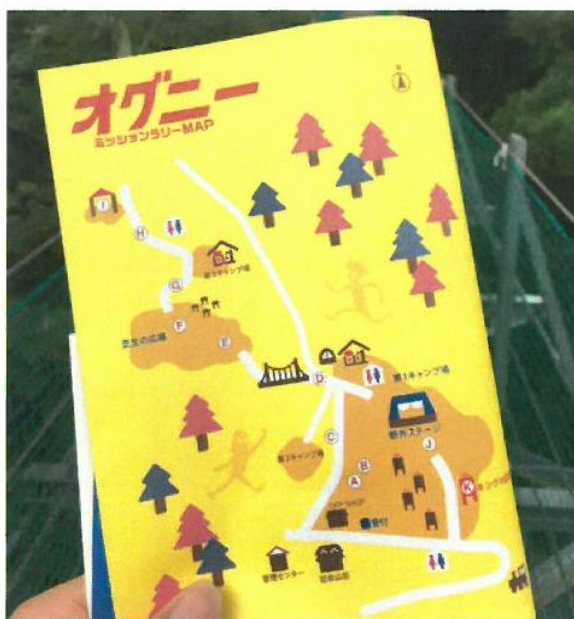
▲ Web での情報発信 (PRビデオ作成)



▲ イベントポスター・チラシ (表)



▲ イベントポスター・チラシ (裏)



▲ オグニーミッションラリー ガイドマップ



▲ オグニーミッションラリー
バンガロー棟を使った秘宝の部屋



▲ オグニーナイトの様子



▲ オグニー期間中のドリンクラベル



▲ オグニーミッションラリー ミニチュアオグニー



▲ オグニーバス



▲ 公園内各地に 20 体ほど配置されたオグニーカガシ



▲ 造形大学長瀬研究室

小国地域

団 体 名：小国和紙おまつりアイテム開発事業実行委員会

事 業 名：小国和紙おまつりアイテム開発事業

申請団体名	小国和紙おまつりアイテム開発事業実行委員会		
事業名	小国和紙おまつりアイテム開発事業		
実施期間	着手	平成29年6月1日	完了 平成30年3月20日
実施場所	(有) 小国和紙生産組合 (長岡市小国町小栗山145)		
補助金額	400,000円		
事業の内容	<p>【目的】 「地域の宝」である小国和紙を地域の皆さんが親しみを持ち、内外にPR力のある宝にしていきたいということから、小国和紙を使用したあかりなどを製作し、祭りやイベントで活用することで地域の活性化につなげたい。</p> <p>【事業費】 400,000円 (予定)</p> <p>【内容】 平成28年に小国らしさが表現されていて祭りなどのイベントで活用しやすい田んぼのゴロ(定規)をモチーフにしたあかりを大小3種類製作。本年度、これを修正しつつイベントにどのように活用できるかを検証したい。最終的には、独自のあかりイベントを開催し、「小国といえば」といわれるようなイベントにしていきたいと考えている。又、冬になると雪にあたるなどして従来の六角ちょうちんが使いづらくコストも高いということから、雪上で使いやすくコストの安い「小国和紙竹あかり」を製作。冬のイベントの際に活用できるものを考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2017年5～6月 各集落名の入った六角ちょうちん約120個を製作しました。 ・6月18日 小国カントリートレイル前夜祭にてステージ等に集落名の入った六角ちょうちんを展示しました。 ・7月9日 東京小国会60周年記念総会の会場入り口にて各集落六角ちょうちん、田植えゴロを利用した大型行灯の展示、各テーブルに小国や長岡らしい模様を付けた行灯を展示させていただきました。 ・8月20日 もちひと祭り幼児行列の手持ち六角ちょうちんを貸し出し使用してもらいました。 ・2018年1月12日 小国和紙竹あかりの製作指導、上野裕治氏1月20日 小国森林公園イクメンキャンプでの小国和紙竹あかりの試験ワークショップ。 		

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2月20日（予定）小国雪まつり前夜祭(雪ぼたる) ふれあいスイーツバイキングでの小国和紙竹あかり製作ワークショップと野外展示を計画しています。 <p>上記以外にも、地域内のイベントや、各集落でのお祭りなど、外部でのPRなどで、機会があれば様々な形でコラボレーションしていきたい。地域の方々や子供たちの意見も、積極的に取り入れる形をとっていこうと考えています。</p>
事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成28年度に製作したミニ六角ちょうちは、コストもおさえ、小さく、普及型として良いものできました。 ・ 昨年、提案した大型の手持ち六角ちょうちは、各集落のネーム入りで製作するなど、地域の方により近い形で提供できた。子供たちにも、小型ライトのちょうちんを配布するなどして、手にとって楽しんでもらえました。 <p>冬の小国和紙竹あかりは、和紙に絵を付けるなどの手軽な創作活動も可能なので、今後、製作参加型のイベントとして構成していきたいです。</p>
今後の課題	<p>昨年は、和紙を使ったアイテムのプロダクトを作ることを重視したが、本年度は、いかに活用するか、ということで小国地域内(又は地域関係イベント)に積極的に使用していただいた。「しっかり作ってあっていい」「高くてもほしい」などという感想をいただいた反面、「あかりが弱い」「数が少ない」などの反省もありました。</p> <p>次年以降は、安価にできる小国和紙竹あかりなども活用し、より多くの方が参加できる、あかりが主役になれるようなイベントを構成できたらと考えています。</p>

実施状況



▲ 2017年5～6月、各集落名の入った六角ちょうちん約120個を作成しました。ちょうちんの木枠を町内の建具屋で制作しました。



▲ 和紙の絵柄は白樫染色工房にて染め付けました。



▲ 集落名の入ったちょうちんは各集落にご購入いただき管理してもらいますので保管用の箱も制作しました。



◀ 2017年6月18日、小国トレイルランニング前夜祭にてステージ等に集落名の入った六角ちょうちんを展示し使用していただきました。



▲ 7月9日、東京小国会60周年記念総会の会場入り口にて各集落名の入った六角ちょうちん、田植えゴロを利用した大型行灯を展示しました。



▲ 各テーブルに小国や長岡らしい模様を付けた行灯を展示しました。



▲ 8月20日、もちひと祭り幼児行列の手持ち六角ちょうちんを貸し出して使用してもらいました。



▲ 2018年1月20日、小国森林公園でイクメンキャンプにて小国和紙竹あかりの試験ワークショップを行いました。



▲ 1月20日、日中に和紙でシェードを作成しました。



▲ 1月20日、夕方暗くなったところに点火し竹あかりを楽しみました。

小国地域

団 体 名：音楽の森プロジェクト

事 業 名：音楽交流イベント事業

申請団体名	音楽の森プロジェクト		
事業名	音楽交流イベント事業		
実施期間	着手	平成29年5月20日	完了 平成29年8月31日
実施場所	おぐに森林公園		
補助金額	400,000円		
事業の内容	<p>【目的】 小国地域の人達に、様々なジャンルの音楽を通して交流を楽しんでもらえる事業のひとつとして、価値あるものに育てていくことを事業の目的としている。そして、主な来場者はかつて森林公園が賑わっていた頃に公園で楽しく遊んでいた世代とその子供たちを想定しており、森林公園の賑わいを取り戻すことを目的としている。</p> <p>【事業費】 402,170円</p> <p>【内容】 1 音楽の森2017（2日連続で開催） ・実施日：平成29年7月16日（日）、会場：おぐに森林公園内の紙の美術博物館 ・実施日：平成29年7月17日（月・海の日）、会場：林間広場ステージ ・参加団体：小国地域の在住者または出身者がいるグループが7組、長岡市内から1組、柏崎市から2組、新潟市から1組、三条市から1組、南魚沼市から1組、東京都から1組の合計14組が吹奏楽、ロック、ジャズ、ラテン音楽、フォルクローレ（南米の民族音楽）、インド音楽、沖縄三線、DJ、ポップス、フォークなど多様なジャンルの演奏を披露した。 ・内容：カホンという打楽器を作り、ステージで演奏するワークショップも昨年に続き開催した。定員12組を超える20組の応募があり、対応した。飲食、ワークショップ等の出店コーナーを設け、1日をゆったりと過ごせる内容とした。 ・参加者数：合計400名（1日目が100人、2日目が300人）</p>		
事業の効果	○小国地域で音楽活動をしている人達の参加が増えた。今年で3年目となるが、小国地域からの出演者は前回よりも3組増えて7組となった。音楽活動をしている人達を広く紹介することができた。今後も出演者が増えていくことが期待できる。		

	<p>○カホン(打楽器)のワークショップは昨年よりも多くの参加者が集まった。 昨年に続き2回目となるが、告知から10日間ほどで定員12組に達したので、追加を要請し20組とした。新潟市からの参加者が多く、子供連れも多かった。 ただ音楽を聴くだけではなく、参加することの楽しさを味わってもらえた。</p> <p>○おぐに森林公園の施設や空間の良さと利用価値を知ってもらえた。</p>
<p>今後の課題</p>	<p>○小国地域で音楽活動をしている人達との関わりを強くして、さらに様々なジャンルの音楽を紹介したい。</p> <p>○来場者から灌日をゆったりと過ごしてもらい満足していただける音楽イベントにするために飲食やワークショップも充実させていきたい。</p> <p>○来場者が音楽に参加できる企画を考えたい。</p>

実施状況

1日目 (7月16日 場所 おぐに森林公園 紙の美術博物館)



① Whoops!



② With Caution



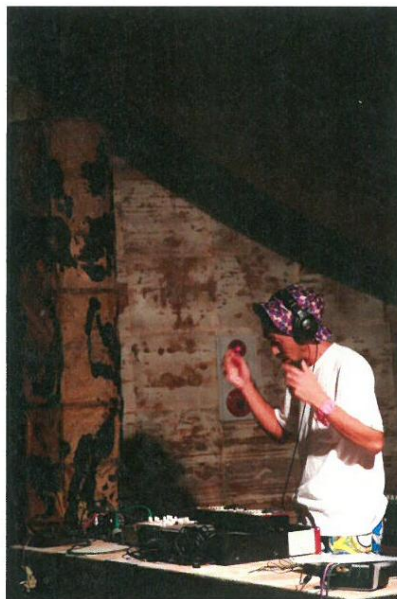
③ ロスワイラス



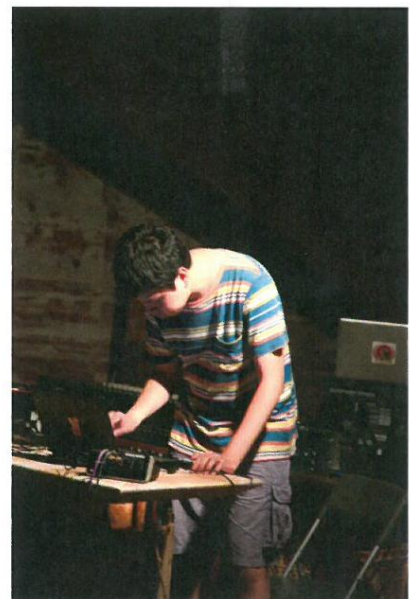
④ 極東エレキ民謡チーム きよ里×エーサク



⑤ SHANTI-K



⑥ DJ 風邪気味



⑦ Subject None

2日目(7月17日 場所 おぐに森林公園 第1キャンプ場 野外ステージ)



① 長岡市立小国中学校吹奏楽部



② じえたーむ



③ ロス・チキートス



④ MINT



⑤ ニューコロ&カホンワークショップ参加者



⑥ SAKURA



⑦ でいがでいなエチゴ

カホンワークショップ



① カホンづくり



② 出演者ニューコロによる叩き方講習



③ ステージで出演者ニューコロと共演

小国地域

団体名：チーム・おぐに

事業名：トレイルランニングを活用した地域振興事業

申請団体名	チーム・おぐに		
事業名	トレイルランニングを活用した地域振興事業		
実施期間	着手	平成29年4月10日	完了 平成29年8月31日
実施場所	長岡市おぐに森林公園ほか小国地域一帯		
補助金額	1,450,000円		
事業の内容	<p>【目的】 トレイルランニングや交流会を通じて、参加者に小国地域の魅力を伝え、移住・定住のきっかけとなる出会い体感してもらおう。また、おぐに森林公園をスタート、ゴール地点をすることにより、おぐに森林公園の活性化につながるものである。</p> <p>【事業費】 1,486,682円</p> <p>【内容】 地域之宝である「小国の森林」を活用した一大イベントとして小国に定着することを目指し、地元住民とトレラン参加者との交流(前夜祭の開催)、参加者に対する小国地域のPR(小国をPRするエイドの設置)、開催支援等を通じた地元住民のトレランに対する機運の醸成(住民参加によるコース選定及び整備)、などに取り組んだ。</p> <p>1 前夜祭</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日時：平成29年6月17日(土)、15:30~18:00 ・内容：開会式で法末神楽を披露し、交流会の最後に小国音頭を参加者と踊った。おぐにのごっつおとして53種類119皿の料理を用意した。 ・調理した団体：6団体(食生活改選推進協議会、ちやざわ生産組合、魔女の直送便、おぐに結城野の会、商工会女性部、健康食の会) ・メニュー(一部抜粋)：豚汁、山菜の天ぷら、しょう油おこわ、こごめゴマ和え、うどкинぴら、まきずし、ズイキ酢の物、ぎんなんバター、冷やしのっぺ ・参加者：290人(地元参加者：132人、トレラン参加者：158人) 		

	<p>2 トレイルランニング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日時：平成29年6月18日（日）、6：00～17：00 ・参加者：767人 <p>内訳 5.3kmコース 6：00スタート 参加者数299人 1.5kmコース 11：10スタート 参加者数179人 2.5kmコース 11：15スタート 参加者数289人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容：地元住民と参加者との交流の場として、エイドを6か所（法末、せせらぎ公園、ステーキハウス、八王子、猿橋、新町）設置した。また、応援団を9か所（上岩田(スタート・ゴール)、桐沢、法坂、下村、金沢、八石山頂、相野原、金沢、檜沢）設置し、ポカリスエット等の飲み物の配布と各エイドではそれぞれ料理（そば、わらび、おにぎり、ちまき、きゅうり等）を用意した。 <p>3 おぐに体験ツアー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日：6月17日13：00から ・参加者：11名（トレラン参加者等） ・内容：長岡駅に案内山子を設置し、遠方からの参加者を出迎えた。また、小国地域までの送迎バス(トレイルランナーズ手配)に小国観光協会のボランティアがイトが乗車し、小国地域のPRを行った。
事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・今年で2回目のトレイルランニングであったため、部会ごとに何をすべきかを把握し、部会の代表者を中心に機能し、事務局での負担が軽減された。 ・トレイルランニングのコースではない集落にも駐車場警備などに関わってもらうことにより、「自分たちには関係のないイベント」という意識が薄まった。そのため、来年開催に向けての新しいコースの検討が始まった。 ・トレイルランニング当日以外にも開催に向けて、コースの整備、前夜祭の準備等を地元住民を巻き込んでできたことにより、小国地域全体でイベントを盛り上げる一体感の醸成ができた。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・トレイルランニングへの参加者は増加が見込まれることにより、交流会やエイドでの更なるおもてなしが必要となる。しかし、小国地域だけで行うことには限度があることを認め、ある程度で手を打つことも必要である。 ・小国地域だけではなく、他の地域からの協力を得て、おもてなしに工夫をすることが今後の課題である。

実施状況



▲ 交流会会場のステージ花



▲ 交流会開会式 法末神楽



▲ 前夜祭（交流会）メニュー



▲ 交流会 小国音頭



▲ エイドのようす



▲ エイドのようす



▲ エイドのようす



▲ エイドのようす



▲ 小国小学校



▲ 小国小学校



▲ 小国中学校



▲ 小国中学校



▲ 表彰式の様子



▲ 表彰式の様子



▲ 長岡駅で参加者のお出迎え